

次期千葉市地域福祉計画策定に必要な視点・取り組み（案）

平成22年3月23日
千葉市保健福祉総務課

① 地域福祉計画の広報・PR

①-1 親しみやすさと共感を得られるPR手法

- ア 誰もが親しみやすくわかりやすい計画書づくり
- イ PR用のリーフレット作成
- ウ 市ホームページのリニューアル

①-2 市民への直接的な働きかけ

- エ 地域住民や団体が参加できる場の設定（体験談・先進事例の紹介など行うフォーラムの開催 等）
- オ 地域の様々な組織・団体への直接的なアプローチ（行政、行政と区推進協委員の協働）

①-3 計画書配付先の工夫

- カ 福祉施設、学校のボランティア部へ計画書を配付
- キ 地域のボランティア団体へPR用のリーフレットを配付

①-4 情報発信方法の工夫

- ク 市ホームページのリニューアル（相互の情報交換機能を追加 等）（再掲）
- ケ 「市政だより（区版）」へ地域福祉活動事例紹介欄を設定（実際の活動を通じたPR）
- コ 計画策定後に「市政だより（臨時号）」の発行

② 活動団体

②-1 団体の枠を超えた連携

- ア 地域住民や団体が参加できる場の設定（先進事例の紹介など行うフォーラムの開催 等）（再掲）
- イ 社会福祉協議会地区部会と町内自治会の連携強化（福祉活動推進員の強化 等）

②-2 地域の福祉力の向上

- ウ 活動の地域間格差の解消（他団体の活動内容の紹介 等）
- エ 市社会福祉協議会の機能発揮

③ 活動拠点、活動資金

③-1 既存施設の有効活用

- ア 公共施設・福祉施設の有効活用
- イ 空き店舗・空き家などの活用（情報収集・情報発信）
- ウ 民間で行っている助成金の情報提供

③-2 地域で賄う活動資金

- エ 有償ボランティアの検討
- オ バザーの開催を推進（事例紹介等）
- カ 民間で行っている助成金の情報提供（再掲）

④ 高齢者・障害者・子ども等の見守り支援

④ 地域で孤立させない見守り活動の普及

- ア モデル事業など先進事例・成功事例の紹介による啓発（冊子作成・PRなど）
- イ 問題を抱えた人たちの掘り起こし・発見のシステムづくり

⑤ 担い手・コーディネーター（調整役）

⑤-1 新たな担い手の創出

- ア ボランティア講座等参加者を、確実に実践につなげるための工夫
(ボランティア団体等の情報提供)
- イ 学生へのボランティアの機会づくり
- ウ 区地域福祉計画推進協議会委員によるボランティア講座の開催
- エ 好事例の情報発信（ボランティアの事例紹介等）
- オ ボランティアデータベースの構築

⑤-2 やる気につながる仕組みづくり

- カ 地域福祉活動に対する市のサポート（後援など）
- キ 先進事例の紹介、貢献者の披露・紹介

⑤-3 リーダー・コーディネーターの養成

- ク 福祉活動推進員の活性化（講座の充実）
- ケ 地域福祉コーディネーター養成講座の開催
- コ 市社会福祉協議会の機能発揮

⑥ 障害者への支援

⑥ 障害者への支援

- ア 福祉作業所や福祉施設の授産製品の購入、業務請負などによる就労支援
- イ 障害者週間の広報PR

⑦ 区計画の推進

⑦ 計画の具現化と多方面からのサポート

- ア 区計画が推進されるよう行政と市社会福祉協議会が連携を強化
- イ 区推進協を活用して、区ごとに活動の手引書（活動の仕方・事例紹介）を作成
- ウ より効果的な助成制度の検討（各区作成の手引書の事業に対する助成制度等）
- エ 市ホームページのリニューアル（再掲）
(計画書の取組項目ごとに、実践事例の紹介や公的制度の紹介欄を付記する など)
- オ 区推進協メンバーによる相互情報交換の場の設定
- カ 地域のボランティア団体へPR用のリーフレットを配付（再掲）
- キ 区独自の支援策の検討（助成制度等）
- ク 市社会福祉協議会の機能発揮

⑧ 他地域への展開

⑧ 事例の紹介と助成制度

- ア 区推進協やフォーラムにおける、先進的な取組事例の情報提供・協議
- イ より効果的な助成制度の検討（各区作成の手引書の事業に対する助成制度）（再掲）